

令和2年2月実施予定

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・活動スペースを保障し、広く利用できるように、極力、家具などを置かない工夫をしています。 ・利用人数が増えると狭く感じることもありますが、今のところ適正です。 ・支所内に屋根付きの体を動かせる施設がない。
	2	職員の配置数は適切であるか			○	・発達障害の児童が増加し、その分児童1人に職員が複数支援することもあり現職員数では、足りない事がある。 ・ジュニアデイ利用児童は、吉崎市島内4町に分散しており、送迎だけでも職員は、手薄の状況である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・大きな段差はない。車椅子でも生活動作に支障が出ないように工夫しています。 ・児童に一人ひとりに合った机、椅子等が揃えられない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・職員が計画したプランは何度も練り直し、実施したプランの反省を職員間で行い、改善したものを次の日に行うようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・令和2年2月の家族の会にてアンケートの実施を行った。頂いた意見は、今後の支援に反映させていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・本年度も速やかにホームページに公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・吉崎市社協の第三者委員会はある。 ・ジュニアデイ独自の第三者による外部評価については、今後検討が必要です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・全職員が資質の向上に努め、職員研修会の他に各自、外部の研修会に積極的に参加したいが、職員体制の状況により参加できる機会が少ない。 ・島内で開催の児童に関する研修が少ない。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・児童の状況や保護者のニーズ等鑑み、計画書、アセスメントを行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・標準化されたアセスメントツールは使用していない。どうしていくか、今後検討します。 ・児童のひとつの行動に対して支援方法を職員間で意見を出し合い日々対応しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・行っている。季節・行事等に合わせ活動プログラムを検討しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・一週間単位で、プログラム内容を変えています。 ・地域、社会交流の場に向け「関わり」のある活動を一つずつ実現させていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・行っている。ミーティング等で職員間にて協議。活動や支援内容等を検討しています。

供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個人の課題と、集団の中で友達と適切に関われるスキルの向上など、必要に応じて分けて考えています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前ミーティングを行い、全職員に「本日の活動」「利用児童様の課題」「職員の役割・仕事内容」が伝わるように配慮しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後、職員間で情報交換を行う。また、翌支援日ミーティングにて機会を設けるなどして、適宜振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・記録は、児童の活動の様子を記録するように職員に伝えています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			○	・半年に1回程度を目安にモニタリング実施。また必要があれば6ヶ月を待たず実施し、サービス見直しに利用しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			・ガイドラインに記入されている内容を複数組み合わせ合わせて行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・基本、係長が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・児童の状況はもちろん、行事、下校時間等も学校と連絡は密に行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・主治医より医療ケアを実施することを承諾書及び指示書をもらい、主治医、学校看護師とも情報共有を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・状況により、情報交換を行っていくよう工夫します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・提供を求められれば、保護者の同意を得て、情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・名古屋市子ども家庭課やこどもセンターとも連携を密にして情報交換等に努めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・行事に今後、放課後児童クラブとの交流などを検討しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・名古屋市社協本所代表が参加しています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時や電話、連絡帳等で情報交換し一緒に考えるように努めています。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・重要な内容なので今後検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に、時間をいただき、一つ一つ説明をしています。また、質問事項等あれば、迅速に回答しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・送迎時や電話等で悩みや相談を受け、一緒に考えるように努めている。また、児童の様子などが必要な場合、ジュニアデーの様子をまとめた文書を作成し、連絡帳とともにお渡ししています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者の会は年1回開催し保護者間の交流も目的としており、本年度も開催し、保護者同士で相談等されている様子が見られました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情については、相談窓口としてジュニアデー係長が対応。責任者は、郷ノ浦支所長。また、法人として、苦情解決第三者委員会があり対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・通信「ジュニアデーだより」を月1回発行しています。 ・活動概要や月の行事予定等は、通信に記載しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・施錠できる書庫等を利用し、十分注意しています。 ・写真、動画掲載の承諾については、その都度保護者の承諾を頂いています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・送迎時に、お話ししている。また、利用日は、連絡帳を使用し、その日の様子を記載し、保護者にお渡ししています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・本年度は、郷ノ浦文化展に児童の作品を出品しました。これからも活動を増やしていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・吾岐市社協法人として災害マニュアル等があり、またジュニアデー独自に「薬の管理にマニュアル」「事故発生時対応マニュアル」「感染症等予防・まん延防止対応マニュアル」があり、職員周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回の支所における避難訓練に参加。本年度は、ジュニアデー独自で「不審者対策」の訓練も実施しました。 ・来年度もいろいろな種類の訓練に取り組めるよう計画していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・令和元年9月27日に「児童虐待」に関する研修会を開催。本年度のテーマは、「児童虐待対応」。ジュニアデー職員全員参加しました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・現在、身体拘束まで必要な児童はいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現在は、医師の診断書を提出された児童はいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事業所内のヒヤリハット事例集を活用し注意喚起しています。 ・毎月のミーティング等で全員周知し、再発防止策を協議しています。